

○目指そう農作業の効率化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県西予市 表田			
協定面積 2.8ha	田 (87%)	畑 (13%)	草地	採草放牧地
	水稻	ピーマン・果樹等		
交付金額 64万円	個人配分			60%
	共同取組活動 (40%)	役員手当		6%
		総会・事務費		5%
		農道・水路維持管理		22%
視察研修積立費		7%		
協定参加者	農業者 16人			開始：平成12年度
人・農地プランの作成状況	作成していない（話し合いを実施中）			

2. 取組に至る経緯

表田集落は、野村町惣川寺上地区、標高 500m に位置する中山間地域であり、農業者の高齢化や後継者不足、鳥獣による農作物被害の増加などの悩みを抱えていた。

このため、高齢者でも持続可能な農業の振興が図れるよう中山間地域直接支払制度に取り組むこととした。

3. 取組の内容

表田集落では、農業生産活動を維持していくために、これまでは、個人個人で行っていた農作業を共同で行うこととした。田植えや稲刈りは、作業日程を計画し、各個人が所有している機械を利用して、農作業を共同で行っている。また、農道や水路の管理においても個人所有の機械を利用して、効率よく管理が行われている。

今後ますます進んでいく高齢化の中で、作業のグループ化について検討しているところである。

また、小規模・高齢化集落支援加算に取り組むことで、今まで、高齢による労働力不足等により苦勞していた農作業も効率よく行うことができるようになった。さらに近隣の集落協定との合同研修やコンバインの借用を通じて、情報交換や地域の活性化を図ることができた。



【集会の様子】



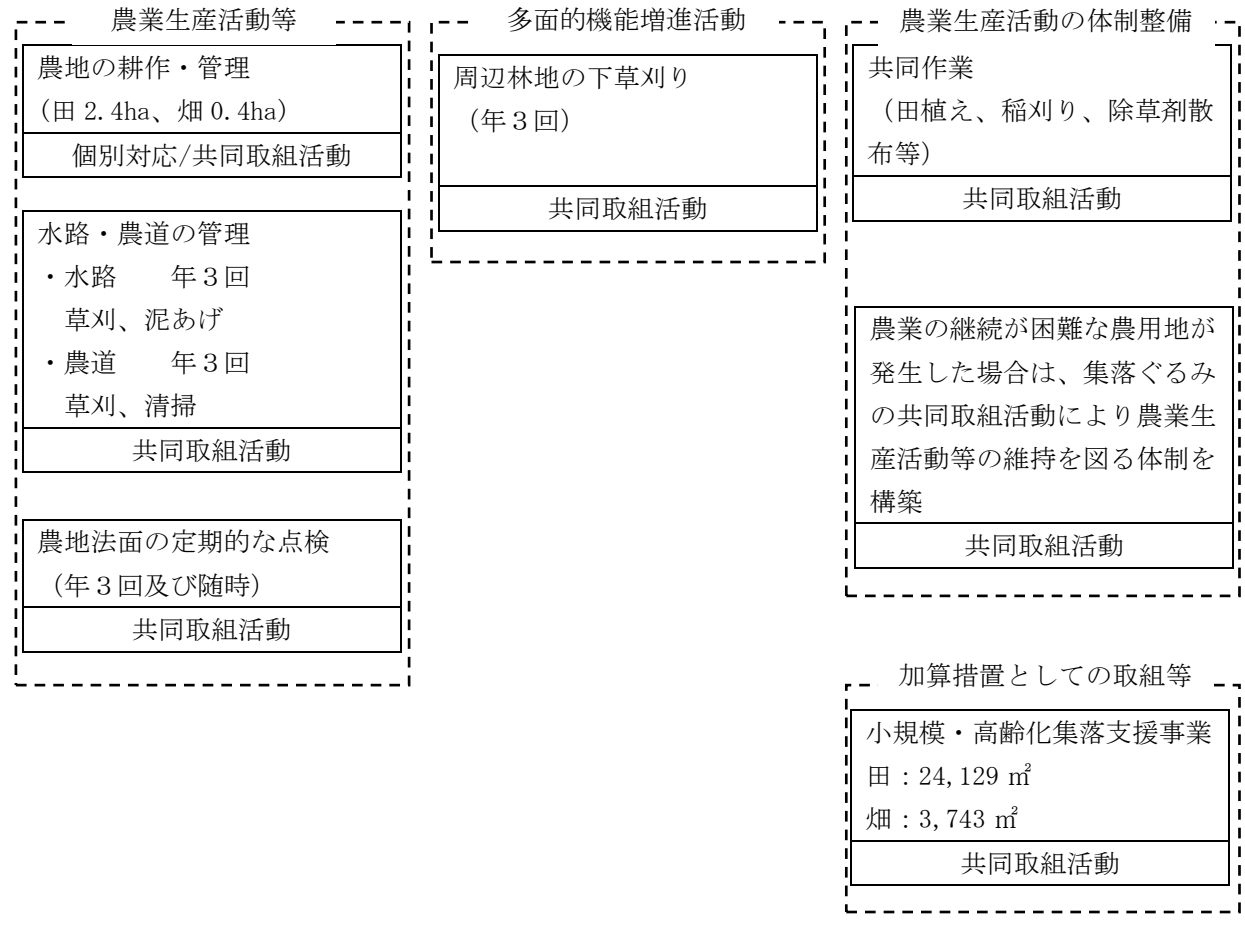
【農道の草刈の様子】

[集落の将来像]

○集落ぐるみで地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備を行う。

[将来像を実現するための活動目標]

○共同で支え合う集団的かつ持続可能な体制整備



集落外との連携

- 近隣の集落との合同研修の実施
- コンバインの借用

4. 今後の課題等

鳥獣害が増加する中、防護柵等の設置を検討し被害の防止を図ることや、また、農業者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の発生を防ぐために、農作業のグループ化を検討し、効率的な営農活動を目指すことが課題となる。

[第2期対策の主な成果]

- 共同作業の定着
- 農道、水路、法面の管理が年3回に定着